

平成26年度

「生徒自身による『スマホ安全利用私たちのルール』づくり」
研究実践報告書

【はじめに】

【取組に至った経緯】

スマートフォンの普及に伴い、SNS上での不適切な投稿や他人に対する誹謗中傷などの問題が顕著化している。文部科学省が毎年実施している「問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の「いじめの態様」においても「パソコンや携帯電話で誹謗中傷や嫌なことをされる」の項目は平成23年度から平成24年度調査では大きく増加している。

しかし、ネットいじめを含めたネットトラブルの問題は大人からは見えにくい部分があり、教員による指導や監視だけでは解決が困難であり、子供たちがネットいじめやネットトラブルを自分自身の問題と捉え、課題解決に向けて主体的に関わろうとする態度と自らが課題を解決していく、いわゆる自助・共助の力を養うことが必要である。

県教育委員会は、生徒自身が主体的に話し合い活動を行い、自分たちが守るべきルールを策定する活動をとおして、自助・共助の力を生徒自身が身につける研究を行いこととし、県立高等学校6校を、平成26年度「生徒自身による『スマホ安全利用私たちのルールづくり』」研究校に指定し、以下の取組を行った。

【平成26年度研究委嘱校】

- ・ 県立蓮田松韻高等学校
- ・ 県立宮代高等学校
- ・ 県立日高高等学校
- ・ 県立芸術総合高等学校
- ・ 県立松山女子高等学校
- ・ 県立皆野高等学校

【平成26年度事業協力団体】

- ・ デジタルアーツ株式会社（代表生徒のワークショップ）
- ・ NPO法人スクールネットワークアドバイザー（ネットの安全利用に関する講演会）

【取組概要】

県立高等学校6校を研究校に指定し、「生徒自身による『スマホ安全利用私たちのルール』づくり」を実施。

- ① 各研究校で20人から40人の代表生徒を選出し、代表生徒が話し合い活動等とおして『私たちのルール』の案を作成する。
- ② 作成した案を各クラスに提示するなどして全校生徒から意見を集め、代表生徒がとりまとめて『私たちのルール』を策定する。
- ③ 外部講師によるスマートフォン等の安全利用に関する講演会を実施し、そこで代表生徒が、各学校独自の『私たちのルール』を全校生徒に周知し、遵守を呼びかける。

【策定までのスケジュール】

- 4月 研究校募集
- 5月 研究校の指定
第1回子供のネット問題連絡協議会
（各研究校の現状や子供を取り巻くネット問題について、専門家等を交えて情報交換）
- 7月～9月 各研究校で代表生徒によるワークショップを開催
- 7月～10月 各研究校で『私たちのルール』策定
- 9月～10月 外部講師による講演会を実施、代表生徒が『私たちのルール』を全校生徒に周知
- 10月 第2回子供のネット問題連絡協議会
（各研究校の取組についての報告と今後の取組について意見交換）

【策定までの基本的な流れ】

※ 研究校の実状に合わせ、実際の取組は多少の変更がある

1 代表生徒の選出

代表生徒の人数は20人から40人程度を目安とし、選出方法は、生徒会役員、ホームルーム委員会等、特定のクラス、部活動、希望者など各学校が定める方法とする。

2 『私たちのルール』原案作成:代表生徒による話し合い(ワークショップ)

〈ワークショップ参加生徒〉 代表生徒

〈講師〉 デジタルアーツ株式会社 田中 耕太郎 氏

〈ワークショップ手順〉

- ① 講師によるスマホの危険性に関する講義
- ② 講師によるワークショップの進め方の説明
- ③ 代表生徒によるブレインストーミング
4人から6人のグループに分かれ、グループ毎にスマートフォンやインターネットに関する生徒自身の経験や生徒間で問題になっていることを含めた問題点やスマートフォンを利用することの利点について事例を挙げる (KJ法による)
- ④ 問題点や課題の吟味
ブレインストーミングで挙げられた事例をグループ毎にまとめ、問題点や課題を整理する。
- ⑤ 整理された問題点や課題を受け、代表生徒が『私たちのルール』の原案を作成

3 全校生徒による『私たちのルール』の検討

各研究校では、全校生徒が『私たちのルール』づくりに取り組むよう、以下の取組を実施。

- ① 私たちのルール原案に関する全校生徒対象アンケート
- ② 自分たちが考えるスマホの問題点と必要なルールに関する全校生徒対象アンケート
- ③ 生徒総会で代表生徒が原案について説明し、全校生徒からの意見募集
- ④ 代表生徒が各HRで原案について説明し、HRで原案について協議を実施

代表委員は全校生徒からの意見を集約し、各研究校の『私たちのルール』を策定

代表生徒による『私たちのルール』の策定

代表委員は全校生徒からの意見を集約し、各研究校の『私たちのルール』を策定

スマートフォンの安全利用に関する講演会

〈講演テーマ〉「ネットの安全利用について」

〈講師〉 NPO法人 スクールネットワークアドバイザー 内山 統子 氏

『私たちのルール』策定後、研究校はネットの安全利用に関する生徒の意識啓発のための講演会を実施。

講演会の中で、代表生徒が『私たちのルール』を全校生徒に周知し、遵守を呼びかける。。

【各研究校の取組】

県立蓮田松韻高等学校

「蓮田松韻高校『私たちのルール』」

- 1 ネット上で、自分がされて嫌な事は相手にしない ※写真を載せられる、悪口など
- 2 ネットに写真を載せるときは、相手の許可を取る
- 3 スマホを使いながら他の事をしない ※自転車乗車中、会話中、食事中など 長時間使用しない
- 4 個人情報の流出に注意する
- 5 ネットに晒(さら)されるようなことをしない
※軽い気持ちで、変なサイトを見たり、知らない人と会わない

学校概要

(1)学級数:19学級 (2)生徒数:662名 (3)教職員数:61名

『私たちのルール』策定のための代表生徒 等

- (1) 代表生徒 生活委員(各クラス2名 合計38名)
- (2) 担当分掌等 生徒指導部、図書IT部、教務部、情報科



ワークショップの様子

『私たちのルール』策定及び周知のスケジュール

日時	生活委員の目標	教員の指導
6/13(金)12:30~12:50 三者面談期間(午前授業)	代表生徒へ 概要説明	・生徒指導部が委員に概要・日程を説明する。 ①リーダー会議 ②外部講師によるワークショップ ③クラス提案 ④全校生徒にルールを発表
7/8(火)11:00~11:30 期末考査最終日	リーダー としての 意識醸成	・図書IT部(情報科)が委員にネット上のトラブルを紹介し、 必要なルールをイメージさせる。 ・生徒指導部が委員に「ルールづくり」のリーダーとしての 意識を醸成させるとともに、ワークショップの日程および 取組方法について説明する。 ①ワークショップの進め方 ②班編成 6~7名の5班編成
7/9(水)13:00~14:30 午前授業	ルール 原案策定	・外部講師によるワークショップ デジタルアーツ株式会社 工藤 洋介 様 田中耕太郎 様 ※各班5つ合計25のルールが完成
7/16(水) 11:10~11:50 午前授業	原案の協議 クラス提案 方法確認	・生徒指導部が委員に25のルールを振り返らせ、原案を 10に絞り込ませる。情報科教員が補助する。委員に7/17 (木)SHRでクラスに提案し、この原案を5つに絞り込むよう 指示する。
7/18(金) 11:00~11:30 終業式	ルール完成	・委員が各クラスで絞り込んだ原案を投票形式で5つに絞り 込む。生徒指導部が補助する。
9/4(木) 9:00~10:10	全生徒へ周知	・外部講師による講演会 スクールネットワークアドバイザー内山統子様 ※生活委員長を含め3名が5つのルールを発表

全校生徒への周知及び定着の取組

・全校への周知方法

- ア. 外部講師による講演会終了後、生活委員長を含め3名がパワーポイントを使ってルールを発表
- イ. 各教室にラミネートされた用紙を掲示
- ウ. 職員玄関へパネルを掲示



講演会後の発表の様子

蓮田松韻高校独自の取組

(1)内容

本校の生徒が近隣の中学校等へ出向いてルールを発表する。

(2)実施日

- ア. 黒浜西中学校 11/10(月)
- イ. 蓮田市PTA連絡協議会役員研修会 12/6(土)

(3)成果

- ・中学生や保護者への発表という機会を頂くことができ、生徒自身の成長へつなげられるとともに、ルールの周知を通して多くの人に関心も持ってもらえるものと期待できる。

「『私たちのルール』づくり」を実施しての成果

(1)ルールの策定

今までは、生徒指導部が指導するための規定(罰則)のみであったが、この取組を通して生徒自身が守る行動指針ができたということは大きな成果である。また、生徒自身が策定したことで、スマホの使い方を自ら考え、行動する自助・共助へとつなげられたため、抑止力も高くなった。本年度、文部科学省より人権教育研究指定校事業の指定も受けており、いじめ撲滅に向けて、このルールの内容も取り入れながら取り組んでいく予定である。

(2)生徒の感想・意見

- 1) 普段話すことがない内容を皆で話し合いながら、ルールを再確認することができた。
- 2) 自分で考えたルールなので、自分たちで守りやすいルールができた。
- 3) ゲームなどをやりすぎて、夜遅くなったりしたので、これから気をつけたい。

「『私たちのルール』づくり」、今後の課題

(1)周知

ルールの周知に向けて、生活委員会で協議させた結果「チラシを配る」「生徒手帳に掲載する」「週に1回呼びかける」「学年集会で毎回話す」「昼休みに放送する」などの意見が出された。今後これらを実現することが課題である。

(2)意識の継続

本年度は、策定の作業を通して高い意識が醸成されたが、次年度以降、この意識を継続させていくことが課題である。

「宮代高校『私たちのルール』」

- ・ 学校内では、必ず電源を切る。
- ・ ネット上に個人情報や画像などをむやみに掲載しない。
- ・ 依存しすぎないように、他のことにも興味・関心を持つ。

学校概要

(1)学級数:19学級 (2)生徒数:665名 (3)教職員数:61名

『私たちのルール』策定のための代表生徒 等

代表生徒 生徒会本部役員及び生活委員会

『私たちのルール』策定及び周知のスケジュール

(1)策定について

【代表生徒によるワークショップ】

実施日:7月14日(月)

講師:デジタルアーツ株式会社 田中耕太郎氏

代表生徒:生徒会本部役員及び生活委員計20名

内容:田中氏からネットの危険性やワークショップの進め方の説明を受けたあと、代表生徒が5つのグループに分かれて、スマートフォンの問題点を洗い出し、それを基にルールの素案を考え、代表生徒同士で発表。

素案をもとに、9月中に生徒会本部役員が複数回検討を重ね、本校のルールを策定

(2)周知について

【スマホ安全利用講演会】

実施日:10月16日(木)

講師:NPO法人 スクールネットワークアドバイザー 内山統子氏

周知:「スマホ安全利用講演会」終了後、生徒会本部役員が説明

翌朝のSHR時に全生徒にチラシを配布し、担任が説明

ラミネート加工し、各教室に掲示

来年度から生徒手帳に掲載予定



ワークショップの様子



代表生徒による発表の様子

宮代高校独自の取組

(内容)

- ・本校ホームページでの公開 ・PTA広報誌への掲載依頼
- ・11月10日(月)、町内小・中学校校長会をとおして本校の取組の成果を紹介 (依頼があれば、本校生徒が訪問・説明する予定)

『『私たちのルール』づくり』を実施しての成果

(1)研究の成果

- ・学校全体での講演会等をとおして、スマホ等の安全な利用方法について再認識させることができた。
- ・ルール策定の中心であった生徒会本部役員の生徒たちからは、「自分自身も正しい使い方を理解していなかったのが、何が良くて何がいけないのかがよくわかった。」「スマホの利用について、こんなに深く考えたことがなかったので、とても勉強になった。」「これまでトラブル等があった人はもちろん、そうでない人も、今回決めたルールを守って、安全にスマホを利用してほしい。」との声があった。

(2)今後の課題

- ・生徒が中心となって作成したことに意義があるので、今後は定着を図る。そのためには、始業式・終業式などの学校全体での集会や学年ごとの集会等の機会を活用する。繰り返し紹介することで、徹底させる。
- ・「ルール」が守られているかを定期的に検証する。
- ・時代や生徒の変化や状況等に対応して、定期的に見直す。

「日高高校『私たちのルール』」

- ア SNSの利用ルールを守ろう！
 - ・人の写真を勝手にアップロードしない。
 - ・「誰でも見ることができる」ということを忘れない。
- イ スマホ利用時の音量に気をつけよう！
 - ・ゲームの音
 - ・電話の声
 - ・イヤホンの音漏れ
- ウ 「ながら」スマホはやめよう！
 - ・歩きながら×
 - ・友達と話しながら×

学校概要

(1)学級数:14学級 (2)生徒数:443名 (3)教職員数:47名

『私たちのルール』策定のための代表生徒 等

代表生徒:生徒会本部役員

『私たちのルール』策定及び周知のスケジュール

(1)策定について

【代表生徒によるワークショップ】

内容:生徒会本部役員による話し合いにより、「日高高校『私たちのルール』原案」を作成

【全校生徒による検討】

実施方法:6月5日(木)、生徒総会において「日高高校『私たちのルール』原案」を全校生徒に提案。
提案後、生徒から「原案」に関する意見を受け付ける。寄せられた意見を基に、代表生徒が話し合いを行い、「日高高校『私たちのルール』」を作成。

(参考) 6月時点での原案は以下のとおり。

- ① ながらスマホはやめよう！
- ② フィルタリングをかけよう！
- ③ SNSでのマナーを改めよう！
- ④ 音楽を聴くときは音量を気にしよう！
- ⑤ 違法ダウンロードはダメ！
- ⑥ 人の写真を勝手に撮ることは止めよう！
- ⑦ スマホの利用に制限をつけよう！
 - ・充電は1日1回にする。
 - ・分からない字は検索しないで辞書を引く。など

(2)周知について

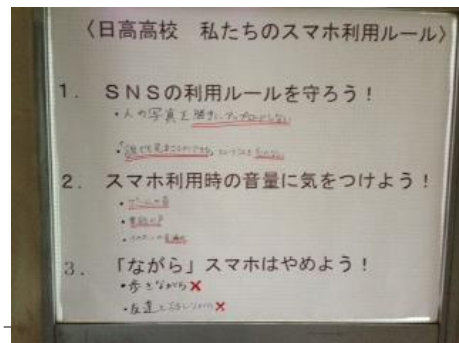
【スマホ安全利用講演会】

実施日:10月7日(火) 9:00~10:30

講師:NPO法人 スクールネットワークアドバイザー 内山統子氏

周知:「スマホ安全利用講演会」終了後、「日高高校『私たちのルール』」を発表

発表後、ポスターを作成し、全校生徒への周知を図るとともに、「日高高校だより」への掲載と配布、学校へのホームページへの掲載を行った。



校内掲示ポスター

『私たちのルール』づくりを実施しての成果

(1)成果

本校においては、携帯電話に関する規則として、『授業中は電源を切りカバン等にしまう』という項目のみであり、使い方についてのきまりはなかった。

今回のルールづくりでは、使用方法について全校生徒が作成に携わり、自らが作成したため、いわゆる押しつけられたルールではないことの意義が大きい。

また、全校生徒の目に付く場所にポスター掲示をしてあるため、常日頃確認することができ、浸透する効果が期待できる。

(2)課題

今年度は全員が参加することにより策定したため自ら作成した意識があるが、来年度以降の入学生も同様の感覚になるためには、毎年作成するか、微調整を行わなければならない。

「芸術総合高校『私たちのルール』」

- ・歩きスマホはしない！
- ・スマホは22:00まで！
- ・SNSでつぶやく前に3回見直す！

学校概要

(1)学級数:12学級 (2)生徒数:468名 (3)教職員数:51名

『私たちのルール』策定のための代表生徒 等

代表生徒: IT委員会
(各クラス2名、※3名のクラスあり 合計25名)

『私たちのルール』策定及び周知のスケジュール

(1)策定について

【代表生徒によるワークショップ】

実施日: 10月16日(木) 15:40~17:00

代表生徒: 全学年IT委員会

コーディネーター: デジタルアーツ株式会社 田中耕太郎氏

内容: 1年生が「IT断食から『IT活用』を考える」授業をととして策定した「(自分自身の)IT活用3カ条を基に、代表生徒がグループ討議や発表を行い、「芸術総合高校『IT活用3カ条(芸術総合高校『私たちのルール』)」を策定。

(2)周知について

【全校生徒への周知】

実施日: 10月17日(金) 朝SHRにて各クラスで実施

【スマホ安全利用講演会】

実施日: 3月18日(水)

講師: NPO法人 スクールネットワークアドバイザー 内山統子氏

周知: 「スマホ安全利用講演会」終了後、代表生徒が全校生徒に対し『私たちのルール』を説明



ワークショップの様子①



ワークショップの様子②

芸術総合高校独自の取組

(1)「IT断食」(1年次生対象)

4月~6月 年次集会等で、ネットトラブルの紹介や本校におけるケータイ利用規則について説明。

7月16日(水) 年次集会にて、夏季休業中の課題「IT断食」について説明

8月 夏季休業中に「IT断食」を1日体験し、感じたこと・気づいたことなどをレポートにまとめ、夏季休業終了後に提出

※ レポートは参考資料として、次ページに掲載

9月18日(木) LHR・総学にて「IT断食から『IT活用』を考える」授業を、知識構成型ジグソー法を利用して各クラス担任が中心となり実施。各生徒が「(自分自身の)IT活用3カ条」を策定。

(2)成果

「スマホの欠点を知って、自分にも多く当てはまった」「リアルな人とのつながりを大切にしたい」など、ITの活用に向けた感想が多く見られた。

また、「(生徒自身の)ルール作り」をすることで、自分たちの行動に責任感をもたせることができた。翌日の昼休みには、食事中に顔が上がっている様子が見て取れ、きちんと対面のコミュニケーションをとるようになれたと考える。



IT断食から『IT活用』を考える授業

『私たちのルール』づくりを実施しての成果

(1) 成果

個人のルール作りだけで終わるのではなく、「芸術総合高校 IT活用3カ条」を策定することで、1年間の取組に核が生まれた。また、今回のルールには採用されなかったが、「スマホを友達にしない」というものがあり、「ずっとスマホを使っていることが好ましくない」ということが認識されてきている結果と考えている。ルール作りの場を設けることで、普段なんとなくやっつけてしまっていることを見直し、IT活用へ向けた取組を学校全体で行えたことが、一番の成果だと考える。

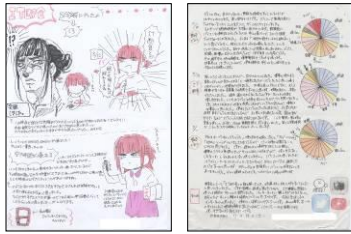
(2) 今後の課題

生徒がルールを守っているかどうかの確認方法や、守れない生徒にどのように働きかけるかなどは、まだ決められていない。今後、チェックシートなどを作って対応する予定である。また、たとえば新入生にIT活用3カ条をどのように伝えるかなど、今後に向けた取組も必要であり、継続して行っていきたい。

※ チェックシートは以下、参考資料として掲載

参考資料

(1) 「IT断食」のレポート



(2) 「芸術総合高校 ケータイマナーブック!」

©埼玉県立芸術総合高等学校 IT委員会

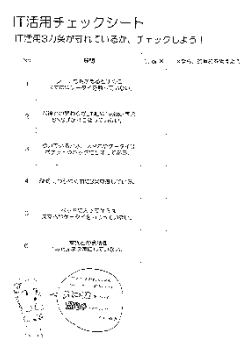
(表紙)



(大原則)



(チェックシート)



「松山女子高校『私たちのルール』」

- 1 TPOを考慮して、家族・友人といるときは、スマホを利用しないようにする。
- 2 ネット上に個人情報や安易に漏らさず、他人を不快にさせるような書き込みはしない。
- 3 過度な課金やスマホへの依存が起らないように、自分で管理・制限する。
- 4 人とのコミュニケーションを大切に、言いたいことは直接言う。
*人を思いやれる松女生になりましょう。

学校概要

(1)学級数:24学級 (2)生徒数:960名 (3)教職員数:68名

『私たちのルール』策定のための代表生徒 等

代表生徒: 風紀委員(各クラス2名 合計48名)

『私たちのルール』の策定及び周知

(1)策定について

【代表生徒への趣旨説明】

実施日:6月16日(月)

内容:教頭が風紀委員会にて、「生徒自身による『スマホ安全利用私たちのルール』づくり」の趣旨説明を実施。

【全校生徒への趣旨説明】

実施日:6月23日(月)

内容:生徒指導主任が全校集会にて、「生徒自身による『スマホ安全利用私たちのルール』づくり」の趣旨説明を実施。

【代表生徒によるワークショップ】

実施日:7月14日(月)

講師:デジタルアーツ株式会社 田中耕太郎氏

内容:①ワークショップ開催の趣旨説明及び講師紹介

②検討の進め方と事例説明

③検討及び発表内容のまとめ

(代表生徒を8グループに分けて実施)

・問題点の洗い出しと『私たちのルール(案)』の作成

・発表内容のまとめと発表用模造紙への記入

④各グループからの発表(発表内容は後掲)

【全校生徒への報告】

実施日:7月22日(火)

内容:1学期終業式で、風紀委員長が全校生徒にワークショップの内容を報告。

【全校生徒の意見集約】

実施日:9月1日(月)

内容:①2学期始業式にて、風紀委員長が全校生徒にアンケート依頼。

②全校生徒へのアンケートの実施と集計(内容及び結果は後掲)

【『私たちのルール』策定】

実施日:9月18日(木)

内容:風紀委員会にてアンケート結果をもとに、『松女スマホのルール』を策定。



ワークショップの様子①



ワークショップの様子②

(2) 周知について

【スマホ安全利用講演会】

実施日：9月25日(木)

講師：NPO法人 スクールネットワークアドバイザー 内山統子氏

周知：「スマホ安全利用講演会」終了後、風紀委員長が説明

【その他】

風紀委員による啓蒙ポスターの作成及び校舎内での掲示



ネットの安全利用に関する講演会

松山女子高校独自の取組

(1) 9月25日「松女スマホのルール」宣言～数年間

(2) 風紀委員会からの要望により平成27年度から生徒手帳に掲載。

(3) 本校ホームページへの掲載。

(4) 「Stop! いじめ in Saitama 2014」における、実践発表

月日・場所：平成26年11月4日(火)・ソニックシティ

発表者：松山女子高校風紀委員会委員長及び副委員長



代表生徒による『松女スマホのルール』宣言

「『私たちのルール』づくり」を実施しての成果

(1) 取組の成果

スマートフォンの安全利用「松女のルール」では、生徒が主体的にスマートフォンの安全な利用方法を考え、本校独自のルールづくりを実施していく過程で、ルールを決めることの難しさや、大切さ、意義を知り、生徒の規範意識の向上につながった。

ルール策定に当たり、人との関わりやコミュニケーションを重視したことで、例年では数件発生していたネットによる人間関係のトラブルが、26年度は報告されていない。

【皆野高校】

- 1 ながらスマホをしない。 × 歩きながら・自転車に乗りながら・勉強しながら
- 2 常に相手のことを想って発言する。
- 3 壊れやすいから丁寧に扱う。
- 4 インターネットで調べた情報は参考程度にする。
- 5 インターネットで知り合った人とは深くかわらない。

学校概要

(1)学級数:12学級 (2)生徒数:258名 (3)教職員数:51名

『私たちのルール』策定のための代表生徒 等

代表生徒 HR委員(各学級2名) 生徒会本部役員

『私たちのルール』策定及び周知

(1)策定について

【代表生徒の事前打ち合わせ】

実施日:9月8日(月)

- ・教頭から代表生徒に『私たちのルール』づくりの趣旨を説明し、意識付けを図った。
- ・代表生徒のグループ分け、リーダーと記録係の選出

【全校生徒への周知と意見集約】

- ・代表生徒への趣旨説明の後、HR委員が各クラスの生徒に資料の掲示と説明による周知。(掲示物から)「自分自身が感じている身近なスマホの問題点をあげてみよう。それに対して、どのようなルールが必要か考えてみよう。」
- ・HR委員がクラスの生徒から集まった意見を集約

【代表生徒によるワークショップ】

実施日:9月17日(水)

代表生徒:HR委員、生徒会本部役員 (7名×5班を編成)

講師:デジタルアーツ株式会社 田中耕太郎氏

- 内容:① スマホの問題点を考える。
② 問題点をグループ分けする。
③ それぞれのグループについて、どのようにすればよいかルールを作る。
④ 班ごとにルールをまとめて、発表する。
⑤ 5つのルールを策定する。

(2)周知について

【「皆野高等学校 スマホ等のルール」宣言】

実施日:9月18日(木)

- 内容:① 生徒会長による「皆野高等学校 スマホ等のルール」宣言。
② 「皆野高等学校 スマホ等のルール」クラス掲示。

【その他】

- ① 学校新聞による全校生徒・保護者への周知
※学校が独自に講演の内容も含み周知
- ② 学校のホームページに掲載
- ③ 「市報ちちぶ11月号」に掲載

【スマホ安全利用講演会】

実施日:11月18日(木)

講師:NPO法人 スクールネットワークアドバイザー
内山統子氏



ワークショップの様子①



ワークショップの様子②



スマホ安全利用講演会

『私たちのルール』づくりを実施しての成果

(1) 研究の成果

ア ワークショップによる気づき

ワークショップにより、いかに自分たちがスマホに依存しているかに気付くことができた。このことが成果である。

イ 自助

生徒が生活と密着しているスマホの使い方について、改めて考える機会を得るとともに、2回実施した講演をとおして、知識を身につけ、問題解決のための対応方法について各自が学んだ。また、トラブルを未然に防止するための心構えについてもそれぞれが思い描くことができた。

キ 共助

現状を踏まえたとうえで、自分たちが守ることのできるルールを自分たちで作ったことにより学校全体としての行動指針が策定できた。

(2) 研究の課題

ア ルールを守る

高まった意識をいかに継続していくかが課題である。策定したルールをいかに生徒が守ることができるか、「ふりかえりシート」の記入や生徒による働きかけ、ルール徹底週間の設定などにも生徒に、自ら考え、取り組ませたい。

また、保護者にも理解・協力を依頼し、他行で実践しているような「スマホ断食」に取り組み、改めて各自が自分のスマホ依存の状況を確認できるような機会を作りたい。

イ ルールをブラッシュアップする

今後、年度末にアンケート調査を実施し、来年度に向けて、今年度策定したルールをブラッシュアップすることが課題である。今回のルールづくりでは、使用時間に関するルールがどの班でも話題になりながらもルールにならなかった。

さらに自分たちの状況とあるべき姿を生徒自らが考え、自分たちに必要なルールを考えていくことに取り組んでいきたい。

参考資料

(1) 学校が独自に行った研修の内容

スマホ依存にならないために

- 1 使用時間を制限 (例) スマホ禁止タイマーの設定
- 2 フォルダ名で規制
- 3 場所 (かばんなど) で管理
- 4 通知機能を使わない
- 5 電源をオフにする


※ 困った時には 「大人に相談する」 ことが大切です。

(2) 「市報ちちぶ11月号」

夢をかなえる 未来にはげたく

秩父地域の高校

実践的な学習を通して、
社会で活躍できる人材を育成 (秩父高校)



秩父高校は平成29年度、埼玉県教育委員会から「生徒自身による「スマホ安全利用私たちのルール」づくり」研究校に指定されています。この研究では、ネット問題の解決に向けて自分たちでルールづくりをして、生徒自身が主体的に関わることによって「自助・共助」の力を養うことを目的としています。

グループ協議後、参加者全員で5つのルールをまとめました。このルールについて、生徒会長の四方田聖也さん(3年)から「スマホや携帯電話では、多くのトラブルが発生しています。自分を守るために生徒自身が決めたルールを守っていきましょう」と全校生徒に向けた決意表明がありました。